4 生計費・労働経済関係

生計費関係

総務省の「全国消費実態調査」及び「家計調査」に基づき、令和2年4月の標準生計費を次の 方法により費目別、世帯人員別に算定した。

(1) 標準生計費の費目

標準生計費は、次の5つの費目別に算定している。各費目の内容は、それぞれ「全国消費実態調査」及び「家計調査」の次に掲げる大分類項目に対応する。

食料費…食料

住 居 関 係 費 … 住居、光熱・水道、家具・家事用品

被 服・履 物 費 … 被服及び履物

雜 費 I ··· 保健医療、交通·通信、教育、教養娯楽

雑 費 Ⅱ … その他の消費支出(諸雑費、こづかい、(使途不明)、

交際費、仕送り金)

(2) 費目別、世帯人員別標準生計費の算定

 $2人\sim 5$ 人世帯については、家計調査における令和2年4月の費目別平均支出金額(日数を $\frac{365}{12}$ 日に、世帯人員を4人に調整したもの)に、費目別、世帯人員別生計費換算乗数を乗じて算定した。

なお、1人世帯については、平成26年の「全国消費実態調査」を基礎として算定した平成30年4月の費目別標準生計費に消費動向の変動分を加味したものに、全国の費目別平均支出金額に対する本県の費目別平均支出金額の割合を乗じて算定した。

第22表 長崎市における費目別、世帯人員別標準生計費

費	世帯人	<u>人</u>	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人
			円	円	円	円	円
食	料	費	23, 290	37, 290	48, 440	59, 600	70, 760
住	居関係	費	45, 040	48, 560	43, 680	38, 800	33, 920
被	服 ・ 履 物	費	930	2, 980	3, 380	3, 780	4, 190
雑	費	Ι	22, 360	28, 790	38, 940	49, 080	59, 230
雑	費	П	5, 490	15, 910	18, 530	21, 160	23, 790
	計		97, 110	133, 530	152, 970	172, 420	191, 890

労働経済関係

第23表	米	● 容 洛 指 標														
	画		年 月	平成31年 4月	令和元年 5月	6月	7月	8月	月 6	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4 月
		調査産業計	金額(円)	251, 422	248, 498	248, 347	246, 780	245, 709	247, 305	249, 909	249, 638	251,877	252, 631	253, 326		256, 051
<u>・</u>	粉 与		前年同月比(%)	3.1	1.7	2.3	1.5	0.9	2.1	2.3	1.5	1.5	0.9	3.1	3.3	1.9
光内		調査産業計	金 額 (円)	230, 006	228, 248	229, 114	227, 549	226, 569	229, 389	230, 581	230, 233	231, 302	230, 665	231, 342	235, 341	234, 414
働の	(給 与		前年同月比(%)	3.1	2.1	2.7	1.8	1.1	2.8	2.7	2.4	2.5	0.7	2.5	2. 4	1.9
時賃	総実	労働時間	時間数 (時間)	154.8	146.3	152. 4	154.5	146.4	146.7	150.9	151.1	149.5	142.9	142.0	151.5	150.4
間金	所定外	小労働 時間	時間数 (時間)	11.7	10.9	10.8	10.5	10.9	10.3	10.8	11.2	11. 3	10.9	11.0	11.6	10.8
<u>(3)</u>	定期	調査産業計	金 額 (円)	299, 489	294,772	297,628	296, 427	295, 936	295, 976	298, 384	297, 698	297, 130	293, 104	293, 657	294, 270	295, 762
•	4 条		前年同月比(%)	0.3	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	-0.4	-0.2	0.4	0.3	-0.4	-1.2
労国	所定内	調査産業計	金 額 (円)	273, 350	269, 438	272, 409	271, 611	271, 279	271,804	272, 957	271,882	271,840	269, 069	269, 158	269, 891	273,009
働の	(前年同月比(%)	0.3	-0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	0.2	0.7	0.6	0.1	-0.1
時賃	総実	労働時間	時間数 (時間)	148.7	141.4	147.4	150.1	141.6	142.5	146.5	147.5	145.0	137.7	139.8	142.1	143.9
間金	5 所定外	小労働 時間	時間数 (時間)	13.1	12. 4	12. 3	12.3	11.6	12. 2	12.6	12.6	12. 3	11.8	12.1	11.9	10.6
		全世帯	金 額 (円)	301, 136	300, 901	276,882	288, 026	296, 327	300, 608	279, 671	278, 765	321, 380	287, 173	271, 735	292, 214	267, 922
	4	消費支出	前年同月比(%)	2.3	7.0	3.5	1.6	1.3	10.8	-3.7	-0.8	-2. 4	-3.1	0.2	-5.5	-11.0
		勤労者世帯	金 額 (円)	337, 164	332, 273	308, 425	321, 190	325, 516	329,655	305, 197	303, 986	345, 370	312, 473	303, 166	322, 461	303, 621
		消費支出	前年同月比(%)	0.7	6.4	5.6	3.6	1.7	8.9	-3.2	0.2	-1.6	-4.1	0.1	-7. 6	-9.9
<u></u>		全世帯	金 額 (円)	273, 972	276, 499	265, 759	278, 314	276, 493	286, 474	264, 517	259, 636	296, 157	269, 863	265,000	300, 407	270, 372
₩	+	消費支出	前年同月比(%)	-0.3	4.5	2.3	3.8	-3.2	14.2	-6.5	-6.3	-6.2	-6.5	3.8	1.0	-1.3
11111111		勤労者世帯	金額(円)	307, 753	308, 989	295, 452	325, 491	309, 205	320, 451	283, 463	293, 490	332, 049	298, 237	315, 249	354, 589	308, 731
華		消費支出	前年同月比(%)	-0.7	7.4	5.2	13.3	-6.1	11.3	-14.8	-4.6	-1.3	-8.9	7.0	5.5	0.3
		全世帯	金 額 (円)	239, 970	295, 091	238, 683	251, 621	273,877	272, 173	257, 970	263, 681	354, 272	269, 431	281,041	269,884	221, 426
	市	消費支出	前年同月比(%)	-7.0	15.5	-9.6	-13.8	-8.3	7.5	9.0	8.3	24. 4	2.9	16.0	-11.1	-7.7
	<u> </u>	勤労者世帯	金 額 (円)	284, 232	402,823	255, 457	302, 458	325, 257	289, 432	304, 421	324, 569	438,053	343, 699	337, 139	277, 147	257, 954
		消費支出	消費支出 前年同月比(%)	-6.9	39.3	-13.5	-10.1	-9.8	10.8	12.5	23.2	41.4	3.9	10.8	-6.2	-9.2
₩	④消費者	全国	前年同月比(%)	0.9	0.7	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2	0.5	0.8	0.7	0.4	0. 4	0.1
	物価指数	板廊市	前年同月比(%)	1.2	0.3	0.4	0.7	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.8	0.6	1.1	1.2
圏	⑤県内推	⑤県内推計常用労働者数	人 員 (人)	227, 716	227, 431	226,979	227, 160	227, 274	226, 796	226, 665	226, 228	224, 901	220, 272	219,072	209, 259	210,889
			F同月1	1.3	1.2	0.9	0.6	1.0	0.9	0.7	0.7	-0.2	-2.9	-2.8	-4. 6	-7.4
	⑥有効对	⑥有効求人倍率 (季節調整済)	整済) (倍)	1.25	1.24	1.21	1.22	1. 20	1.19	1.18	1.17	1.17	1.13	1.10	1.10	1.04
	管料出所 (D)、	(2), (5)	厚牛労働名「毎月勤う	「毎日勤労統計調査」												

資本出現 ①、⑥。 ⑥、⑥ ② ⑥ ②

厚生労働省「毎月勤労統計調査」 総務省統計局「家計調査報告」 総務省統計局「消費者物価指数月報」 長崎労働局「職業安定業務月報」

④、⑤は平成27年基準である。 ⑤は事業所規模30人以上の数値である。また、②は本系列の数値である。 $\stackrel{\frown}{\otimes}\stackrel{\frown}{\otimes}$ $\acute{\ominus}\acute{\ominus}$ 12 (<u>₩</u>